## Mizuho Bangkok Daily Market Report

# Dated of 2025/06/09

#### Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.74	0.11
JPY/THB	0.2261	-0.0012
USD/JPY	144.85	1.32
EUR/THB	37.31	-0.01
EUR/USD	1.1397	-0.0048
USD/CNH	7.189	0.013
SGD/THB	25.40	0.04
AUD/THB	21.27	0.04
USD/INR	85.64	-0.16
USD Index	99.19	0.45

#### **Bond**

2.30

2.20

2.10

2.00

1.90

1.80

1.70

1.60

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.535	-0.001
10Y (THB)	1.693	-0.019
5Y (USD)	4.121	0.130
10Y (USD)	4.506	0.115

#### Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,322.7	-28
WTI (Oil)	64.58	1.21
Copper	9,693.0	-46.5

#### Stock

4.70 2.50

4.40 2.30

2.40

2.20

2.00

1.90

1.80

Feb-25

3.50 1.70

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,136.43	-4.20
NIKKEI (JP)	37,741.61	187.12
DOW (US)	42,762.87	443.13
S&P500 (US)	6,000.36	61.06
SHCOMP (CN	3,385.36	1.26
DAX(GER)	24,304.46	-19.12

#### Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,394)	-1278.6
Bond net flow	(166)	2893.7
	*compared with previous day	



Apr-25

May-25

lun-25

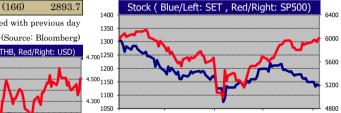
USD/THB

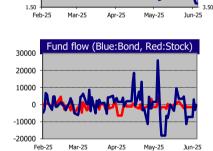
**MIZUHO** 

Mar-25

35.50 35.00 34.50 34.00 33.50 33.00 32.50

32.00 Feb-25

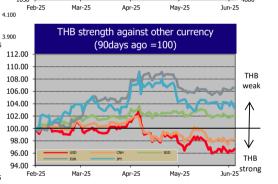






Apr-25

May-25



## Yesterday's market summary

#### ●ドルバーツ

6日(金)のドルバーツは小幅に上昇。32バーツ半ば付近で取引を開始すると、海外時間に米5月雇用統計の発表を控える中で、方向感に欠ける推移が継続。そのまま海外時間に入ると、注目の米雇用統計はヘッドラインが市場予想を上回り、ドル買い優勢の展開に。ドルバーツは32バーツ台後半まで上昇し、同水準を維持しながら32.74レベルでクローズを迎えた。

## ●ドル円その他

6日(金)のドル円は上昇。143円台半ばの水準で取引を開始すると、前日の米中首脳会談を受けたリスクオンムードが継続する中で底堅く推移。144円台に乗せて海外時間に入ると、米5月雇用統計の結果を受けてさらに上値を伸ばす展開に。一時145円台に乗せる場面も見られた。終盤にかけては週末を控える中で動きも一服し、144円台後半まで戻すと、そのまま144.85レベルで引けた。

### Bangkok Dealer's Eye

6日(金)に発表された米5月雇用統計における非農業部門雇用者数変化は、前月から139千人増という結果となり、市場予想(同126千人増加)を上回った。直近発表されていた米ISM製造業・非製造業景況指数といったソフトデータがいずれも弱い結果となり、5月ADP雇用統計も市場予想を大きく下回る結果であったことから、この結果に市場はひとまず安堵したといったところだろうか。これを受けて、引き続き労働市場は底堅いとの見方から、市場は今月のFOMC(17-18日)での利下げ見送りをほぼ織り込んでいる。ただ、詳細を見てみると、過去2カ月分の雇用者数は3月分が▲65千人、4月分が▲30千人と、合計で95千人分が下方修正されている。加えて、労働参加率も予想外に低下していることが確認でき、Fedメンバーからも"雇用環境の変調"についての言及が見られている。かかる中、今週は米5月CPIの発表が予定されており、注目を集めているが、先行き不透明感高いとされている状況下、指標結果の細かな変化にも留意しておきたいところ。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitaion to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational independent by the recipients